



休診日  
 6・13・14・15・20・27  
 午前診療のみ  
 4・11・12・18・25

ホーム  
 ページ



LINE



ONODERA\_ANIMAL\_HOSPITAL

## 熱中症にご用心

暑い日が増えてきましたが、もちろん動物たちも熱中症リスクがあります。ほとんど汗をかかず、呼吸によって体温を調節するため、呼吸が不十分になると簡単に熱中症になってしまいます。**短頭種・過体重・呼吸器疾患持ちの子**は非常にリスクが高いです。またシニアの子で自分で動くことができない子では環境づくりに注意が必要です。

### 症状

- ✓ パンティング（ハアハアする）
  - ✓ ヨダレが多い
  - ✓ 痙攣
  - ✓ 舌が紫色になる
  - ✓ 意識消失
  - ✓ 重症化すると死亡
- ※猫ちゃんでは目立った症状が無いことがあります



### 予防

- ✓ 昼間の散歩は避ける  
朝夜など日差しがきつくない時間帯にしましょう  
足のヤケドにも注意!
- ✓ 室内・社内ではエアコンを適切に使う
- ✓ 興奮を避ける
- ✓ 水分補給を意識する  
動物たちは自分で「お水飲まなきゃ」とは考えてくれません。人が気を付けて、水分を摂ってもらう工夫をしましょう



### 実際にあった熱中症①

「山に連れて行ったら呼吸が荒くなり、舌が紫色になって苦しそう」と緊急来院  
顔を蛇に噛まれており、顔面の腫れも見られた  
顔～首の腫れにより呼吸が抑制されて熱中症になったと考えられる  
一時復調したが、発症から10日後に亡くなった



### 実際にあった熱中症②

10歳の猫。窓辺で寝ていたが、なかなか起きてこないことに気づいた。意識はあったがぐったりしており体温を測ると高体温。部屋にエアコンは無かった。寝ているうちに日が当たるようになり、本人も気づかないうちに熱中症になった可能性



お盆期間中は以下の通りお休みをいただきます  
 お薬やフードのお取り寄せは8月5日(日)までにご依頼くださいませ

11(日)	12(月)	13(火)	14(水)	15(木)	16(金)	17(土)
午前診療		終日休診			通常診療	